

3月 7日

贖いによる神の義

ローマ3章23～26節

3:23 すべての人は、罪を犯したので、神からの
栄誉を受けることができず、

3:24 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによ
る贖いのゆえに、価なしに義と認められるので
す。

3:25 神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。それは、ご自身の義を現わすためです。というのは、今までに犯されて来た罪を神の忍耐をもって見のがして来られたからです。

3:26 それは、今の時にご自身の義を現わすためであり、こうして神ご自身が義であり、また、イエスを信じる者を義とお認めになるためなのです。

ローマ書3章の神の義を
2月21日、現れた神の義、
2月28日、信仰による神の義、
と説教をさせていただき、今日、
ローマ3:24「ただ、神の恵みにより、キリスト・イ
エスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められ
るのです。」というところから
「贖いによる神の義」と
くどのように各方面から神の義について語らせて
いただいています。

マナの会ではマルコ10章を学んでいます。

先週は10章45節の所を学びました。

「人の子が来たのも、仕えられるためではなく、
かえって仕えるためであり、また、多くの人のため
の、贖いの代価として、自分のいのちを与えるた
めなのです。」

マナの会でも贖いということを学びました。

「贖いの代価」とは何でしょうか。

贖いという言葉はあまり
日本語として日常で使わない
ことばであります。

ことばを丁寧に理解することは信仰理解のため
にとっても大切なことでもあります。

贖うとは買い戻すという意味。
売られた奴隷を買い戻して
自由にするときに使われる言葉。

アンクルトムの小説
アメリカ南北戦争の前、
多くの奴隷が市場で家畜と同じように売られて
いた。

買われた奴隷は所有者の私物、所有物。
全く自由がない。

他の人がお金を払ってその奴隷を買うと買った
人の奴隷となる。

買った人はその奴隷を自由にする権利もある。

贖いという言葉は賠償金を
代わりに支払う時にも使われる。

例

交通事故を起こす。

止まっている高級車に追突。

車は大破、乗っている人は大けが。

全面的にこちらが悪い。

道路交通法違反で罰金。

車の保証、けが人の医療費、仕事を休む休業補償、ショックを受けたことへの慰謝料

などは当然払わなければならない。

払わなければ差し押さえ、差し押さえするものがなければ刑務所で労働をして償わないが終わるまで出ることはできない。

賠償金を支払えば体も心も自由になる。

支払わなければ拘束され

自由がない。

友人が身代わりに支払ってくれれば

自由になる。

友人は大きな犠牲を払うことになる。

私たちは南北戦争時代のような奴隷ではない。しかしローマ書3章が語るような
罪の奴隷になっています。

3:23 すべての人は、罪を犯したので、神からの
栄誉を受けることができず、

3:24 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる
贖いのゆえに、価なしに義と認められるので
す。

3:25 神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。

イエス様は十字架で命を捨てられる代価を支払って私たちを罪の奴隷から解放してくださいました。

イエス様は十字架で尊い神の子の
命を捨てる代償を支払って
私たちの罪の代価を代わりに
支払ってくださったので
私たちは完全に永遠に赦されて
自由とされました。

自由にされた人物、聖書の中から。

ヨハネ8章

8:1 イエスはオリーブ山に行かれた。

8:2 そして、朝早く、イエスはもう一度宮にはいられた。民衆はみな、みもとに寄って来た。イエスはすわって、彼らに教え始められた。

8:3 すると、律法学者とパリサイ人が、姦淫の場で捕えられたひとりの女を連れて来て、真中に置いてから、

8:4 イエスに言った。「先生。この女は姦淫の現場でつかまえられたのです。

8:5 モーセは律法の中で、こういう女を石打ちにするように命じています。ところで、あなたは何と言われますか。」

8:6 彼らはイエスをためしてこう言ったのである。それは、イエスを告発する理由を得るためであった。しかし、イエスは身をかがめて、指で地面に書いておられた。

イエス様が赦しなさいと言えば律法を無視することになる。

石打にしなさいと言えばイエス様は哀れな罪びとを救うことのできない、救い主ではなくなってしまう。

8:7 けれども、彼らが問い続けてやめなかったの
で、イエスは身を起こして言われた。「あなたがた
のうちで罪のない者が、最初に彼女に石を投げ
なさい。」

8:8 そしてイエスは、もう一度身をかがめて、地
面に書かれた。

8:9 彼らはそれを聞くと、年長者たちから始め
て、ひとりひとり出て行き、イエスがひとり残され
た。女はそのままそこにいた。

8:10 イエスは身を起こして、その女に言われた。「婦人よ。あの人たちは今どこにいますか。あなたを罪に定める者はなかったのですか。」

8:11 彼女は言った。「だれもいません。」そこで、イエスは言われた。「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません。」

イエスは言われた。「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません。」

イエス様は心の中で言われた。
私があなただけの代わりに石打の刑に
遭ってあげる。

だからあなたは赦されたのです。
罪の奴隷から解放されたのだよ。

歴史の中の人物でイエス様の
愛に生きた人物。

コルベ神父

明治27年1月8日～昭和16年8月14日

日本の長崎で

昭和5年～11年まで伝道

ポーランドへ帰国したとき
ナチスに捕らえられアウシュビッツの収容所
一人のユダヤ人が脱走を企てたので
見せしめに10名が
処刑されることになった。

10名の一人が妻子に会いたい、と激しく泣いた。

コルベ神父は私には妻も子もないから
私があなたに代わってあげようと名乗り出て身
代わりに餓死刑になられた。

このコルベ神父の死は身代わりであってもイエス様の身代わりとは異なっている。

しかし愛に生きたことはイエス様の信仰の足跡を歩んでおられます。

先週マナの会は マルコ10章45節の所を学びました。

10:42 そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、言われた。
「あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者と認められた者たちは彼らを支配し、また、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。

10:43 しかし、あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。

10:44 あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、みなのももべになりなさい。

マルコ10:45

人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」

愛に生きること、神様に、教会に、

兄弟姉妹に仕えることを

ご自身の贖いの代価として十字架の道を歩まれることから教えておられます。

ローマ3:24

ただ、神の恵みにより、
キリスト・イエスによる贖いのゆえに、
価なしに義と認められるのです。

祈り

父なる神様、イエス様の十字架の
贖いにより私たちを信仰により無条件無代価で
贖い、救い、義として、神の子としてくださったこ
とを感謝します。イエス様の尊い犠牲を心から
感謝します。私たちも命をお捨てになって私たち
を救い出してくださったイエス様の足跡を歩み、
他の人を愛し仕えるものとならせてください。主
イエス様の御名によって祈ります。アーメン。